

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第66回)

実施日時:2017年1月18日(水) 10:30~14:45

参加者:豊田先生、金子先生、廣岡先生、中田先生、上地先生、
園芸療法課程生⁽²⁾+クラブ員⁽¹²⁾ = 19名

活動場所:園芸療法ガーデン

スケジュール: 10:30~ 花壇維持管理、草取り
12:00~13:30 昼食をとりながら懇親 (以後、東作業室)
13:30~ ミニ講習会;
「手作りスモークチーズのラッピングを楽しむ」 <門田さん^(16期)>

✽備長炭を使用し、サクラチップのスモークで燻製したチーズを使います✽



【今後の予定】
(変更の場合がありますので、案内メールでご確認をお願いします。)

<2017>

2/22	3/22
4/26	5/24
6/28	7/26
8/23	9/27
10/25	11/22
12/20*	

<2018>

1/31**	2/28
3/28	

毎月第4水曜日

ただし、

<2017>12月は
第3水曜日
<2018>1月は
第5水曜日

新年第1回の例会は、トンネル横の満開のスイセンが迎える中、幸先よく天気にも恵まれ、開催することができました。

ワークショップには、ALPHA祭時に園芸療法課程生制作のハボタンをメインにしたハンギングが今なお、新春の雰囲気を出しています。

そして、キンセンカの葉には霜が降り、早い時間にはメタセコガーデンのシソ科の“シモバシラ”の氷柱が見られたように、大寒を控えたこの時期、冷気をピリット感じながら、ミーティングから活動開始です。

ストックやアリッサムなどに彩られ、花壇ごとの案内プレートが新調された実習園エリアでは、寒さに傷んだユリオブスデージーの花やビオラなどの花柄摘みが、本日の作業です。

また、展示園エリアでの主な作業は、入り口付近から全般での雑草取りなどに加え、先月に続き豊田先生から剪定作業のミニ講座と実践です。今回は、晩秋にかけてたわわに実ったカリンとモミジバフワなどの樹勢を整えます。

枝の状態や内芽と外芽、花芽と葉芽などの見極め、切り過ぎによる幹焼けなど剪定のポイント、そして剪定バサミの使い方などのわかりやすい説明に園内の一般見学者も熱心に耳を傾けられていました。

そして、先生方、園芸療法課程生とメンバーの賑やかな1時間半の作業も、あっという間に過ぎて、園内には元の冬らしい静けさが戻りました。

午後からは、東作業室に移動し、Kさんなどが準備した新年の昼食会です。メニューは酉年にちなんでチキンカレーやうずら卵ヒヨコ、以前タネダンゴで播いた赤カラシナ入りのサラダなどなど…皆さんの持ち寄りでご馳走が並び、談笑を交えながら美味しくいただきました。

その後、門田さんの手により、丹精込めて仕上げられたスモークチーズを衛生面に注意しながらラッピングし、さらにクラブの今後の進め方について皆さんの意見を交換して、楽しい例会が終了しました。

一日お疲れさまでした。これからの一年、例会日が待ち遠しい、そんな活動を続けられるよう皆さん、よろしく願います。

<世話人: 植田(2/22記)、小柳>